

## I 委員構成 会長 上田憲

地域	氏名	所属
東部	寒竹 正人	順天堂大学医学部附属静岡病院小児科先任准教授
	鈴木 和重	かわづクリニック
	丸山 和男	まるやま小児科医院（沼津市医師会小児科会会長）
	中山 豊明	中山医院（静岡県小児科医会副会長）
	堀場 映子	松野こどもクリニック（静岡県小児科医会総務）
中部	村上 仁	村上小児科医院（静岡市清水医師会会長）
	上田 憲	うえだ小児科医院（静岡県小児科医会監事）
	三田 智子	川野辺小児科（静岡県小児科医会会長）
	田中 敏博	J A 静岡厚生連静岡厚生病院小児科 診療部長
	目黒 敬章	静岡県立こども病院免疫アレルギー科免疫アレルギー科医長
	久保田 晃	藤枝市立病院小児科 第3診療部長
西部	白井 眞美	磐田市立総合病院小児科部長 兼 周産期母子医療副センター長
	石川 貴充	浜松医科大学周産母子センター 講師
	犬飼 和久	いぬかい小児科（静岡県小児科医会監事）
	野田 昌代	わんぱくキッズクリニック（浜松市医師会理事）
	村山 恵子	げんきこどもクリニック（県小児科医会会計）
県外	時田 章史	クリニックばんびいに オブザーバー

野口泰之先生御退任。

## II. 会議開催

第1回協議会	2019.4.13	出席 14名
第2回協議会	2019.8.18	出席 10名 ゲスト1名（県立こども病院感染症科荘司貴代先生）
第3回協議会	2020.2.8	出席 11名

## III. 講演会・啓発活動

## 1. 全県講演会 ※台風19号直撃のため中止

2019.10.12. 16時00分～18時30分 於：静岡市産学交流センターB-nest

共催：静岡県小児科医会予防接種協議会、静岡小児臨床研究ネットワーク、一般社団法人 静岡市薬剤師会、静岡県病院薬剤師会中部支部

## 「百日咳、非常事態宣言 in 静岡」

- <講演①> 重症乳児百日咳の症例報告 静岡県立こども病院 総合診療科 丹後 結衣
- <講演②> 静岡県内における百日咳全数報告の状況 静岡県 健康福祉部 疾病対策課 課長 後藤 幹生
- <講演③> 4種混合ワクチン接種後の百日咳に対する抗体価の推移 JA 静岡厚生連 静岡厚生病院 小児科 田中 敏博
- <特別講演> 日本と諸外国における百日咳の現況と対策 国立感染症研究所 感染症疫学センター 神谷 元

2. 静岡小児臨床研究ネットワーク共催・後援講演会 医師3割、薬剤師3割、PHN/保育士などが参加

1) 共催

第22回 2019.8.3 参加者数 48名

定期接種になって3年です！ B型肝炎ワクチン 野田委員講師として講演

2) 後援

第18回 2019.5.18. 参加者数 85名

予防接種：広く着実に、そして安全な接種を普及していくために

第19回 2019.6.8. 参加者数 50名

第2回 静岡中部渡航医学セミナー

第23回 2019.9.7. 参加者数 86名

インフルエンザ：迅速診断キットは診療の質を上げたか?!

3. その他の講演会（予防接種協議会共催または後援）

東部地区：

1) 2019.12.3. 賀茂医師会予防接種講演会 下田市民文化会館小ホール

田中敏博先生講演会 『見(診)たこともないポリオと見(診)るしかない百日咳を予防していくために』

共催：賀茂医師会・静岡県小児科医会予防接種協議会・田辺三菱製薬株式会社

出席：47名（医療関係25・役場・市役所：12・幼稚園・保育園：3・学校：4・保健所：2・町議：1）

2) 2019.10.19 沼津乳幼児保健会 沼津医師会館ホール

主催：沼津医師会、静岡県小児科医会予防接種協議会后援

3) 2019.8.31 オリンピックパラリンピックに向けた感染対策

中部地区：

1) 2019.7.10. 静岡県予防接種センター主催 予防接種講演会 田中委員講演

2) 2020.2.2. 日本臨床細胞学会公開健康講座 札の辻クロスホール

一緒に学ぼう「子宮頸がん」 主催：公益社団法人日本臨床細胞学会

西部地区：

2019.10.15. 緊急企画 今百日咳を考える in 浜松 アクトコンgresセンター

重症乳児百日咳の実際と予防戦略の限界 荘司貴代先生

最新の感染症情報～百日咳を見直す～ 岡部信彦先生

共催：浜松市内科医会、浜松市小児科医会、浜松市皮膚科医会、

浜松市耳鼻咽喉科医会、奇松会（浜松市産婦人科医会）

静岡県小児科医会予防接種協議会、田辺三菱製薬株式会社

4. 第三回 WS 予防接種ワークショップ in 清水町

2019.9.12 於：清水町保健センター 参加者 46名（医師23・看護師12・事務4・行政7）

第1部：ロールプレイ

同時接種とロタワクチンの飲ませ方、BCG接種

第2部：事前アンケートの質問に関する話し合い、回答作成

※終了後アンケートでは、参加者ほぼ全員から高評価。再開催を希望。

## 5. 広報活動

2019年度全県講演会「HPVシンポジウム」 ～いかにHPVワクチン接種の理解を深めるか～

その後 DVD 配布の確認、反響あり

関西大学社会学部メディア学科の学生が卒論としてドキュメンタリー作成予定

## 6. 県小児科医会 HP 稼働

協議会議事録等随時アップしていく

## IV 研究活動

### 1) B型肝炎抗体価調査の発展

厚生労働科学研究班（主任研究者：四柳宏）へ田中委員が研究協力者として参画。

新プロトコールは 2019/12 倫理委員会承認

接種後 3 か月後など時期をそろえての採血にしたい

HBc 抗体を見る。陽性例については遺伝子を見る

過去感染が分かるのは嫌という被検者には伝えない

静岡厚生病院での検査後に検体は集積されて必要な遺伝子検査をおこなう予定

### 2). HPV 被接種者調査 2019 年度予算より 2020 年 12 月までの維持費 129600 円拠出済

本会会員の積極的なご協力依頼の方法周知が必要。HP、ML

具体的には、HPV登録システム参加希望と明記して、静岡厚生病院田中委員あて

([toshihiro.tanaka@alumni.utoronto.ca](mailto:toshihiro.tanaka@alumni.utoronto.ca)) にメールを送付。

ID とパスワードの交付を受けて登録開始する。

★第 149 回日本小児科学会静岡地方会にて概要発表。優秀演題賞受賞。11 月地方会で表彰

★ NHK おはよう日本、けさのクローズアップにて 6 月 24 日インタビュー放映。

<https://www.nhk.or.jp/ohayou/digest/2019/06/0624.html>

★ 接種のおしらせを配布する自治体（岡山県全県、姫路市、倉吉市、いすみ市など）増加。河津町の対象者には保健師が定期接種とのおしらせを配布。文書を協議会で共有。静岡市への要望提出し、定期接種対象者へのおしらせ発送。「積極勧奨は中止しています」の一文あり

★ 県医師会理事（産婦人科）経由で県への要望も提出

## V 社会活動

### 1) ワクチン供給不足に対するコンセンサスの事前作成など。今後の課題へ

B型肝炎ワクチン（ヘプタバックス）の出荷停止に伴い、定期接種年齢超過例への救済が必要

各自治体からは、具体的不足状況を上げていかないと行政は動けないので報告を要望されている

田辺三菱 4 種混合ワクチンでポリオワクチン抗体価不足のロットの問題の共有

Hib ワクチン注射針の錆の為の出荷停止措置による供給停止に対する意見書提出

接種優先順位に関する意見書を県小児科医会予防接種協議会として作成。2020 年 2 月 14 日に県小児科医会会長から静岡県健康福祉部疾病対策課 後藤幹生 課長に提出。厚労省へ意見をあげていただいた。再度の依頼により、供給が 1 か月以上遅れる見込みとなった場合、県内各自治体への通達を出す予定となった。

2) 入園時ワクチンチェックの共通化について、各地区での現状確認と方向性模索

県下統一は困難との結論。現時点で実施していない自治体は、すでにある静岡市や富士市のものをひな型にして作成してもらう。但し富士市については、著作権が富士市なので、許可が必要

3) インフルエンザ治癒証明

県は新たに罹患証明に変更。全県統一の方向となり、各自治体の状況共有

4) 接種費用算定基準についての情報共有実施。働きかけはしない

基準となる計算式はあるが、何をいくりに設定するかは各自治体の裁量。  
県下統一を話題にすると、静岡市など高額の自治体が下げる可能性もある  
データは各自治体との交渉の材料として使用を

VI 2020 年度活動方針 委員会メンバーは変更なし

1. 全県講演会は、以下の案を検討中も COVID19 の状況による。

- 1) 台風で中止の百日咳講演、三混と四混の重要性と今後の勧奨
- 2) HPV ワクチンの現状の整理

※①1月25日 川崎市医師会主催市民公開講座「子宮頸がんを知ろう」

三原じゅん子（自身が子宮体癌）

情報を与えないのはおかしい、情報を与えようとして選択してもらうべき

②2月2日 厚労省主催「ヒトパピローマウイルス感染症の予防接種後に生じた症状の診療に係る研修会」参加報告（堀場）

北大 児童精神科を含めた多職種チームで診療

池田修一 5年間新規患者は来ていないと

奥山

※ロールプレイを通して、初期対応を学ぶ＝こういう対応をしましょう。話を聞く

セリフはこれで、こうなったら二次機関→三次機関と、専門機関に送りましょう  
→事前・接種時・事後の説明ができる医師の登録制にするかも

※ロールプレイのシナリオ、評価者の存在

がん教育（学校の中で患者・医療などの）の中に「感染」

※接種再開すると一定数は bio-psycho-social factor を考えて、患者さんを選んで接種するのが良い

3) 異なるワクチンの接種間隔を制限なしとした際の運用方法（予約の取り方など）

※自由になると、「自由のはき違え」があるリスクもあるのではないかと

※誤接種が減らない→テクノアスカの誤接種防止システムはうえだ小児科ではしっかり稼働

※ワクチン不足になると、現場は困るが、お上は何も困らないことに

4) その他

案：1) と 3) に関する誤接種防止を組み入れる

## 2. WS

今年度はどこでどのような形で実施するか？地区のご意見をいただく  
WSのQ&Aスライド集のHPでの共有はどうか？

## 3. 地区講演会

COVID19により未定

## 4. 静岡小児臨床研究ネットワーク講演会の後援について

第29回 2020/6/13 医療とメディア ペガサート

NHK 記者 小林 江川 病理医からみた子宮頸がん

第32回 2020/8/1 「ロタワクチン定期接種化前夜」

特別講演 川村尚久先生（独立行政法人労働者健康安全機構 大阪労災病院 小児科）

「定期接種化までの長い道のり：学会では絶対に聞けない話 -」

第33回 2020/9/5 「インフルエンザ 2020」

教育講演 ①塩野義製薬 「ゾフルーザ」

②岩附研子先生（東京大学医科学研究所 ウイルス感染分野）「インフルエンザワクチンの免疫応答（仮）」

特別講演 喜田宏先生（国立大学法人北海道大学 ユニバーシティプロフェッサー）

第35回 2020/10/24 「検証！ インフルエンザ脳症」

症例報告 ①中東遠総合病院小児科（予定）

②静岡県立こども病院総合診療部（予定）

特別講演 森島恒雄先生（愛知医科大学 客員教授）

## 5. 研究活動

1) B型肝炎抗体価調査の発展（田中）

厚生労働科学研究班（主任研究者：四柳宏）へ田中委員が研究協力者として参画。

新プロトコールに従って、2020年度内には県内各医療機関に協力をお願いする予定

2). HPV被接種者調査 2019年度予算より2021年3月までの維持費129600円拠出済  
本会会員の積極的なご協力依頼の方法周知が必要。HP、ML

具体的には、HPV登録システム参加希望と明記して、静岡厚生病院田中委員あて

(toshihiro.tanaka@alumni.utoronto.ca)にメールを送付。

IDとパスワードの交付を受けて登録開始する。

★外来小児科学会が全国版作成したいとの要望→システム移行の可能性あり。静岡版はそのまま取り込み

★ 第149回日本小児科学会静岡地方会にて概要発表。優秀演題賞受賞。11月地方会で表彰

★ NHK おはよう日本、けさのクローズアップにて6月24日インタビュー放映。

<https://www.nhk.or.jp/ohayou/digest/2019/06/0624.html>

★ 接種のおしらせを配布する自治体（岡山県全県、姫路市、倉吉市、いすみ市など）増加。河津町の対象者には保健師が定期接種とのお知らせを配布。文書を協議会で共有。静岡市への要望提出し、定期接種対象者へのお知らせ文書送付が議会承認。

★ 県医師会理事（産婦人科）経由で県への要望も提出

## 6. 調査活動

1) ワクチン供給不足に対するコンセンサスの事前作成など。今後の課題へ

B型肝炎ワクチン（ヘプタバックス）の出荷停止に伴い、定期接種年齢超過例への救済が必要

各自治体からは、具体的不足状況を上げていかないと行政は動けないので報告を要望されている。今般の Hib ワクチン出荷停止など急な問題が起こった時に、いち早く方向性の提示ができる機関を目指し、課題を解決していく。

2) その他、協議会として調査すべきことについてご意見をお願いします

V 2020 年度予算案 (28 万円)

1. 全県講演会およびWS・調査費用など 16 万円

2. HPV ワクチン接種者登録システム維持費 12 万円

接種者登録を継続し、患者動向を発信するために予算措置をお願いしたい。

COVID19 の状況次第だが、6 月に第一回協議会を予定